

主 审

大津はMF⑥を起点に前線⑩にボールを送り、「リズムよく攻め、立ち上がり6分と10分に2点を奪い優位に試合をすすめる。一方、筑陽学園はカウンターやセットプレーからチャンスを作るが得点を奪うにはいたらず、大津の2点リードで前半を終了した。後半、筑陽学園はメンバー変更を機に、積極的に攻撃をしかけ大津ゴールを脅かすが、大津DFの固い守りを最後まで崩すことができず2-0で大津が勝利した。